

6月定例会 個人質問

蔵本隆文議員

まちづくり協議会の
今後について

議員

市長は所信表明で、まちづくり協議会は笠岡市のまちづくりの仕組み 자체を改革するという大きな挑戦であると述べられたが、すべての組織が、市の提案した構築書どおりにスタートできたわけではなく、何をどのようにしたらよいのか悩んでいる地区も多い。まちづくり協議会の今後のビジョンをたずねる。

市長 まちづくり協議会に

議員 ①市議会は建替えの提案を否決したが、否決の原因を執行部はどうう受けとめているのか。

②今後の予定についてたずねる。

市長 ①近い将来発生が予測されている東海・東南海・

学校給食センターについて

馬越裕正議員

笠岡市職員の人づくりについて



給食センター

笠岡市の職員の人数と背景について

議員 公約に「これから笠岡を支えてくれる人を育てる」とあるが、どんな理

議員 ①現在の職員の人数は何名か。また、最近の推移をたずねる。財政状況の変化との関係はどうか。

議員 ②以前、正職員の採用を控制されたときの影響がどの程度あつたのかは検証しているか。今後の採用計画についての考えはどうか。

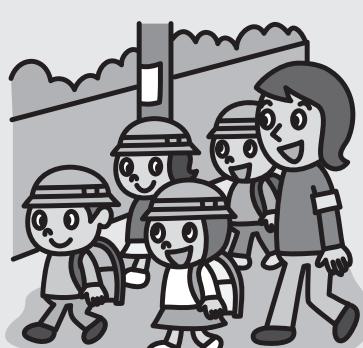
市長 ①平成24年4月1日現在における全職員数は

850人となっている。

成することであると考えている。
②社会情勢の変化にも対応できる職員の育成や、常に市民の目線に立てる職員を目指し、見直しをしていくたい。

笠岡市民の人づくりについて

年齢構成を考慮し、世代間の格差が少なくなるよう人材育成面などへも配慮していきたい。



ががら、住民の経験や力を結集して、住民が主体となつて地域づくりを行う場と考

て地域づくりを行う場と考

測されている東海・東南海・

市長 ①職員一人ひとりが挑戦する職員となるよう育

費も減少となる傾向にある。

②後輩への指導力等での影響の懸念があるが、今後も

えている。

今後、こうした話し合いや活動を実践していくながら、地域の将来を地域担当職員などと一緒に考え、それの中から市の総合計画に反映させていく。そうした実践を積み重ねる中で住

民同士のつながりや信頼関係が強くなり、それぞれの地域が暮らしやすく元気になることを期待している。

議員 行政とまちづくり協議会の関係について、仕組みづくりの標準化は行政主体で行うべきではないか。

市長 標準化についてはこれから検討したい。

議員 ①市議会は建替えの提案を否決したが、否決の原因を執行部はどうう受けとめているのか。

②今後の予定についてたずねる。

議員 ①三島市長自身の表現での人づくりについてたずねる。

議員 ②人材育成基本方針の見直しをするのか。

市長 ①職員一人ひとりが挑戦する職員となるよう育

費も減少となる傾向にある。

②後輩への指導力等での影響の懸念があるが、今後も